

第26回東伏見スポーツサイエンス研究会

日時 2014年5月28日(水) 18:15より

場所 早稲田大学79号館(STEP22)303号室

演題 民間テニスクラブのマネジメントへ好影響を及ぼす
「特殊なプログラム」に関する研究

霜島 広樹先生
(早稲田大学スポーツ科学学術院 助手)

日本テニス協会の調査によると、民間テニスクラブは2010年において1271と数多く存在している。しかしながら、その数はテニス人口と共に長期的な減少傾向にあり、民間テニスクラブを効果的にマネジメントするための研究の蓄積が求められている。

テニスクラブを始めとする民間スポーツクラブマネジメントの研究分野においては、既存の顧客の維持が最重要課題とされ、顧客の満足やサービス品質の向上を目指した研究がこれまでも盛んに行われてきた。しかし、最近そのような研究に対し、中核となるプログラム(テニスクラブにおいてはレッスンプログラム)とは異なる特殊なプログラムの展開が、顧客やスタッフに対して様々な影響を与えることが明らかにされるとともに、それらを戦略的なクラブマネジメントとして活用していく方策が検討されはじめている。

本報告では、それらのプログラムの効果と活用可能性について、これまでの研究結果を基に検討していきたいと考える。



早稲田大学 スポーツ科学学術院
Faculty of Sport Sciences, Waseda University

世話人: 正木宏明・紙上敬太
早稲田大学 スポーツ科学学術院
E-mail: masaki@waseda.jp